

令和6年度 大垣市教育振興基本計画評価委員会 第2回会議録

- 1 **とき** 令和6年7月25日（木）9:30～11:15
- 2 **ところ** 大垣市役所6階 6-3、6-4会議室
- 3 **出席者** 長谷川 哲也委員長、田村 弘司副委員長、吉田 秀慈委員、
井上 瞳委員、三代 広子委員、川合 麻美委員、内藤 正信委員
(欠席：佐野 篤委員)
- 4 **事務局** 細江教育長、鈴木庶務課長、佐藤庶務課長、小塩庶務課長、
小倉学校教育課長、伊藤教育総合研究所長、林社会教育スポーツ課長、
鈴木文化振興課長、橋本図書館長、高橋学校給食センター所長、
立木日本昭和音楽村管理事務所長、吉安庶務課主幹、稲川庶務課主査
- 5 **傍聴者** 2人
- 6 **議題**
- (1) 学校教育について
 - (2) スポーツ振興について

7 会議録

- (1) 学校教育について
資料No.2に基づき、小倉学校教育課長が説明。
以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	15ページの「WEB QU」について、具体的な数字は把握されていますか。
小倉 学校教育課長	各学校の具体的な数字はわかりませんが、5月頃に実施する1回目の調査では、学級がまだできたばかりのため数字が低く、11月頃に実施する2回目の調査では、学級経営や学校生活が充実してくると数値が上がる傾向はあります。
委員	追加させていただくと、分析項目が4種類のマトリックス状に可視化されており、とても分かりやすいものになっております。教員が、

発言者	発言概要
	児童生徒の状態を多角的に把握できるツールです。1回目の調査では学級状況を調べ、各担任が指導の必要な箇所を把握し改善を図り、2回目ではその成果を実感できるものです。
委員	出生率の低下に伴い、児童生徒が減少すると思いますが、学校教育の現場で検討していることは何かありますか。
小倉 学校教育課長	児童生徒が減少した上石津地域では、小・中学校を統合・再編した上石津学園を開校しておりますが、その他の学校においては大幅な変化はないと見込まれており、今後の動向に注視していきたいと考えております。
委員	21ページの指標1の考察にある、「オンライン異文化コミュニケーション」とは具体的にどのようなことを実施していますか。また、日本語を母国語としない児童生徒は、どの国籍の人が多いですか。
小倉 学校教育課長	<p>オンライン異文化コミュニケーションは、タブレットを活用し、海外の小中学生とオンラインで英語を通じて交流しています。実際に、フィリピンの学校と交流し、大垣の水や祭りなどの文化を紹介しています。お互い文化の違いを知り、英語でコミュニケーションを取りたいと意欲をもって活動しています。</p> <p>次に、外国人児童生徒数は、令和6年5月1日現在、小学校で270人、中学校で128人となり、ブラジル人や中国人の割合が多くなっております。</p>
委員	一つの提案として、外国人の子どもが先生になれる環境を与えることにより、尊重される経験をさせてあげてはどうかと思います。違う言葉や文化を知ることにより、一緒に教室にいる仲間の背景を知っていくことも重要です。英語で成功している実績があるため、広げていけると良いと思います。
委員	ふるさと大垣科の授業において、大垣の名所を見学に行くことはありますか。
小倉 学校教育課長	小学5年生は、加賀野名水公園や八幡神社の自噴水を見学し、大垣の水の豊かさを実感し、また、奥の細道むすびの地記念館に行き、文化を学んでいます。
委員	大垣の良さを、ただ単にタブレットで調べるだけではなく、実際に児童生徒が現地に行き、体験するのはとても重要であると思います。
委員	ふるさと大垣科は、小学校から中学校の9年間を通して学習することにより、大垣の良さを改めて認識できると思います。大垣市では、

発言者	発言概要
	多くの時間に体験学習を費やしていると実感しています。
委員	<p>大学のある授業で、大垣市出身者から、ふるさと大垣科に関するレポートの提出があり、授業を通して、地域の実情や課題を発見し、解決方法を考える能力が身についたという内容でした。ふるさと大垣科が子どもたちに定着しており、単にふるさとを知るだけではなく、地域課題を探求しようとする姿があることは、素晴らしい成果だと思います。</p>
委員	17ページの指標2のいじめについて、いじめはダメであると誰でも認識していると思いますが、100%にならない理由はあるのですか。
小倉 学校教育課長	<p>学校は、当然100%を目指して指導をしています。ただ、子どもたちも、いじめはダメだということは頭の中では理解していますが、わかですが、相手も悪いという認識の子もいるためではないかと思えます。</p> <p>難しい目標ですが、道徳教育や通常の学級経営の中で繰り返し指導していき、100%を目指していきたいと思えます。</p>
委員	低学年は、喧嘩といじめの区別がついていない年代でもあるため、何をもっていじめととるのかも、難しい問題であると思えます。いじめは絶対にダメですが、集団生活の中で、いろいろな困難を乗り越え、たくましい子どもたちを育てていくことも重要だと感じます。
委員	100%に近い数字になっているので、子どもたちは、いじめはダメということは理解しているので安心しました。子ども会に携わっているため、道徳的な内容や、心の栄養教育を増やしていきたいと思えました。
委員	16ページの介助員及び支援員について、どの程度の障がいのある子どもが学校に通学することができるのですか。
小倉 学校教育課長	<p>障がいの程度によって、特別支援学校への入学または小中学校にある特別支援学級への入級が望ましいという判定の子どもがいます。なお、いずれの場合においても、保護者の同意のもと決定します。</p> <p>特別支援学級への判定がでていても、地域の学校で仲間と一緒に学ばせたい意向の場合は、保護者及びご本人を含めて、行政としてできることやできないことを協議し、合意を形成して、ご理解していただいた上で受け入れさせていただくことになります。</p> <p>また、最近では、医療的ケア児の受け入れもしています。</p>
委員	昔の話になりますが、約30年前に、私の知り合いの障がいのある

発言者	発言概要
	<p>子どもの通学について、受け入れ可能な学校がなく、兵庫県へ引越したことがありました。状況は異なるため、単純な比較はできませんが、当時から大幅に改善されていると感じました。</p>
委員	<p>昔は、「智・徳・体」の順番でしたが、現在、変化はありますか。</p>
細江 教育長	<p>特別に順番があるわけではありませんが、コロナ禍を経て、メッセージとして、やはり心の問題を大切にしていけるべきであると思います。県の第4次教育振興計画を参考にすると、県も考え方をそのように変えていますし、市も見直しの時期にきているため、意見をまとめていこうと思います。</p>
委員	<p>現場の代表として、大垣市の教育は、他市町村と比較し非常に手厚いため、きめ細かな指導ができると実感しております。</p> <p>例えば、スクールロイヤー制度は、西濃地域では、大垣市だけの制度であり、教員が安心して指導でき、また、初期指導教室では、日本語を話せない外国人が生活言語を学び、日本語を習得しやすい環境であります。さらに、ほほえみ相談員、介助員や支援員なども配置され手厚いです。</p> <p>27ページの指標1について、運動をする子どもの割合が伸びてはいますが、B評価となっています。近年、異常気象による猛暑が続いており、夏に運動場で体育の授業ができなくなってきました。そのため、意見として、体育館にエアコンを設置していただきたいです。金額が非常に高いとは思いますが、夏場に運動ができる環境を整備し、子どもたちが安心して運動できるようにしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>体育館のエアコンに関しては、学校教育だけでなく、学校は避難所としても機能も持ち合わせているため、災害時にも有効であると思います。金額がかかることではありますが、進めていただきたいです。</p>
細江 教育長	<p>先ほどご発言があった心の話と同様に、心と身体は一体であり、心身一如という言葉のとおり、心を大事にするなら体の健康をきちんとすることも課題になってきます。</p> <p>エアコンやトイレも含めて、いろいろなご意見をいただいています。お金がかかることなので、一度に全ての内容を実施することは難しいですが、着実に進めていきたいと思います。</p>
委員	<p>話は少し戻りますが、18ページのいじめ調査は、どのような調査をしているのですか。全数でしょうか。</p>
小倉 学校教	<p>小学6年生及び中学3年生にアンケートを実施し、その中の質問に、</p>

発言者	発言概要
育課長	<p>「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」があり、「そう思う」及び「どちらかというと思う」と回答した子どもの割合から算出しています。各学校の中で数人は、上記の回答をしない子どもがいるため、自己肯定感を高める指導や、いじめる側やいじめられる側の両方の立場で考えさせるなど、工夫して指導している状況でございます。</p>
委員	<p>この調査は、調査対象の子どもが入れ替わっていくため、100%になることは難しいと思います。同じ人を同じように調査すれば、いずれ100%になるわけですが、調査の性質上、子どもは入れ替わっていくので、新しい子どもの回答がどうしても反映され、100%にすることは困難だといえます。</p> <p>母数が多い、こういった性質の調査では、95%を超えて、残りの5%を埋めるのは不可能に近いと思います。しかし、令和3年からみると1.5%上昇し、これは、学校現場が熱心に指導した成果だと思います。</p> <p>この指標を作った時に、調査の性質上100%は難しいが、到達目標として掲げたことは非常に価値があり、学校現場と教育行政がそこを目指して指導していくことは大事だと思います。</p>
委員	<p>15ページの中学校部活動の地域移行について、大垣市は現在、どのように進めているのですか。</p>
小倉 学校教育課長	<p>競技団体ごとに検討会を実施し、休日の地域移行について進めているところです。現在は、3競技において実証実験を実施しており、結果を検証していきたいと考えております。</p> <p>例えば、軟式野球の場合は、野球少年団が受け皿となり、中学校区ごとに運営ができないかという方向で進めております。</p> <p>指導者について、自分の子どもがいる場合は指導できるが、卒業した後も継続して指導できるのかという課題もあります。継続的持続ができるような組織づくりも必要であるため、体育連盟と協力しながら進めているところです。</p> <p>文化系部活動についても、運動系部活動と同様に、地域移行するように進めております。</p>
細江 教育長	<p>現在、大垣市では、地域移行する場合、その団体に対し規約を作ること求めており、しっかりとした組織で持続可能な形で実施してほしい意向があります。</p> <p>また、指導者がたくさんいる状況ではないため、研修会を開くなど</p>

発言者	発言概要
	指導者の養成にも力を注いでいきたいと考えています。
委員	学習指導要領の中に、博物館の活用に関して記述されているので、大垣市にある資料を活用し学習することは必要であると思います。また、大垣市には郷土館があるので、学芸員を配置し、施設を有効活用し、子どもたちの学びに役立ててほしいと思います。

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(2) スポーツ推進について

資料No.2に基づき、林社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	74ページの指標1について、登録者数は毎年増えていますが、実際に現場で活動している指導者数は把握されていますか。
林 社会教育 スポーツ課長	現在の資格制度は、令和元年に変更になったばかりであるため、全ての資格登録者が少年団活動で指導しているものと思います。
委員	77ページの指標1について、「安井スポーツDAY」とはどのような内容ですか。
林 社会教育 スポーツ課長	軽スポーツを1日楽しんでいただけるような運営方法で実施しています。参加者の都合にあわせて気軽に参加できるようになっており、他の地区にも情報発信していきたいと思っています。
委員	81ページの武道館の多目的ホールは、どのような施設になるのですか。また、そのホールにはエアコンはついているのですか。
林 社会教育 スポーツ課長	令和5年度に、使用していなかった喫茶室を改修し、スポーツ教室を開催できる程度の広さがある多目的ホールを整備しました。また、エアコンは、改修工事にあわせて、設置してあります。
委員	民間企業と連携して事業実施を考えていることはありますか。
林 社会教育 スポーツ課長	中学校の部活動地域移行に伴い、指導者確保という点で、民間企業の力が必要になってくると考えています。
委員	生涯スポーツの公的な教育政策として、民間と教育行政の連携は重要ですが、市がどこまでを担うべきかを考えていく必要があると思います。また、行政機関には社会的に弱い立場の人たちへのサービス提供が求められていますから、高齢者や障がい者等に支援が届くようにすることを検討しなければならないと思います。

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(3) その他

全体を通しての質疑応答の概要

発言者	発言概要
委員	<p>昨日も発言しましたが、52ページにある美術品の燻蒸について、関係機関に確認したところ、美術品の状態が非常に悪い場合を除き、現在は、ほとんど燻蒸しない場合が多い状況でした。</p> <p>また、大垣市は、文化財の保護は、非常に手厚く充実しているが、美術品に関しては、もう少し知識のある人材が必要であると感じました。そのためにも、学芸員が、博物館協会の開催する研修会に参加し、最新の情報収集に努めるべきです。</p> <p>最後に、守屋多々志の作品は、全国的にみても非常に重要な作品であるため、今後文化財指定していく中でも、学芸員を置いて、岐阜県内の中で、しっかりと発言していける人材を養成していくべきであると思います。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>燻蒸した美術品は、寄附等でいただいた適切ではない環境にあった美術品のみを対象に実施したものであります。</p>
委員	<p>大垣市は、他市町村と比べても、教育政策に力を入れて充実していて、しっかりとやっていると感じます。さらに発展していくためには、もっとPRを上手にするべきではないかと思います。</p> <p>また、今年度の計画改定において、量的な指標だけでなく、満足度など質的な指標もバランス良く取り入れて、評価・検証していくことが必要であると思います。</p>
委員	<p>基本目標と指標の結びつきに違和感があるものがあるため、再度検証していく必要があると思います。きめ細かな充実した政策を実施しているなか、指標に物足りなさを感じました。特に学校教育分野は難しいですが、指標を設定した背景や根拠をしっかりと説明できることが大事であると思います。</p>

閉会